

# Mランドニュース Vol.131

## 丹波ささ山校 平成30年2月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

大人になるということは  
「他人のために動くこと」

タニサケ塾参加者のことば  
フレッシュタニサケNo.340より

### お餅つき

褒チーム 前川 昂希

今年も仕事始めとなった一月四日(木)、ゲストの皆さまと「お餅つき」をさせていただきました。

このような機会に触れることが少なくなったゲストには珍しくもあり、思いもよらない光景に驚かれてもいました。

蒸しあがったもち米は、白い湯気と共に香ばしい匂いがたちこめ、ロビーで勉強中のゲストの力をお借りしていざ開始です。



しだいに息が合いました

職員に「今年もいい年になるから!」と誘われた藤本様は、小学生のとき一度経験されたとのこと。しだいに思い出されたようで、かけ声に合わせて楽しそうにお

餅をつかれていたのが印象的でした。

皆さまの力を合わせて、でき上がったお餅は、きな粉と砂糖醤油で召し上がっていただきました。

福岡県からお越しいただいた伊藤様は、砂糖醤油のお餅が初めてで、おかわりされるほどでした。

お昼に合わせて皆さまにご用意したお餅は大盛況で、あつという間に完食でした。



つきたては美味しいですね!

丹波ささ山校で九年前から続けている「お餅つき」。

時代と共に見かけることが少なくなってきましたが、これからも皆さんに、日本の食文化を楽しんでいただきます。

美味しそうに食べておられる皆さんの笑顔に、私の方が「福」をいただいた一年の始まりとなりました。

### 初釜

サービスチーム 森田 理沙

一月十日(水)、お茶席「三宝庵」で、今年初めてのお茶席、「初釜」をさせていただきました。

「初釜」という凛とした空気の中、職員も少なからず緊張の面持ちで、ご指導をいただいている表千家流 満仲弘恵先生に、新年の挨拶をされていました。

また、ゲストの方々にもお茶席に親しんでいただけるよう、お声がけをさせていただきました。

そんな中、滞在生の村上様はひととき作法が身につけておられましたので、「茶道のご経験があるのですか?」とお伺いすると、「私たちの若いころは、お花とお茶は花嫁修行として習っていました。」とおっしゃいました。



村上様と一緒に

お点前をする作法、いただく作法が身に付くと、しぜんと姿が美しく見えます。この日に合わせて、新春らしい彩あるお菓子をご用意し、皆さまにお茶席を楽しんでいただきました。



どれも美味しそうです

毎週水曜日、午前十時から午後三時まで、「三宝庵」にてお待ちしております。皆さま、どうぞお立ち寄りください。

### 手話を学ぶ

手話研修担当 堀井 彩未

一月二十一日(日)、今年初めての手話研修を行いました。

教習前に行うため、出社職員はそれぞれ朝の掃除を済ませ、小走りで研修会場に集まってきました。

この日は、篠山ろうあ協会 大内和彦先生と白井実

加様に、手話で道案内をご指導いただきました。



丁寧に教えていただきます

いくつかのポイントを教えてください。いただいた後、今いる場所から指示された場所までの道順を、職員順番にやってみます。

中には、大内先生が首をかしげる場面もあり、上手く伝わらないと、まったく違う方向へ案内してしまうことになりました。

大内先生の表情をうかがいながら、一つひとつの手話を丁寧に心がけ、職員は一所懸命に取り組んでいました。



「さあ、案内できるかな?」

## ゲストに感動を

共育チーム 南勝 宏幸

一月十二日、営業チームと共育チーム合同で、お越しいただくお客様に、「満足」を超えた「感動」を伝えられる教習所としていくための研修会を行いました。

かねてより、白岩正三社外取締役のご紹介で、おはなしをお伺いしたいとお願いしておりました、大阪市の「株式会社 スタジオくどうてん」代表取締役 岡本直人様と、加藤勝隆様をお迎えして、営業に対しての取り組み方はもとより、人の心を動かし喜びと感動を与えるレクチャーをいただきました。



新しい発想をいただきました

その中で、二チームに分かれて丹波ささ山校の強みと

弱みを書き出し、弱みを知ること強みに変えるヒントを教えていただき、参加メンバーも真剣に、また楽しく有意義な研修会を受けることができました。

近年、スマートフォンなどを通して、情報の進化はめまぐるしく便利になっていく反面、人の心を動かす「こと」を忘れがちになります。

お客さまのニーズに忘れることはもちろん、職員で知恵を出し合い、Mランドでなければできない、「感動」を伝えられる教習所づくりに取り組んでまいります。

## そうじの力

一月二十四日(水)、そうじのカプロジェクトリーダーの研修会を行いました。

この取り組みを始めてから三年が経ち、昨年十月より各班リーダーを一新しました。

これまでの成果を維持、進化させると共に、リーダーの感性も反映させながら、毎朝十分間の会社磨きに取り組んでいます。

この日は三か月ぶりに、「株式会社そうじの力」小

早祥一朗先生をお迎えして、これまでの成果とこれからの進め方に対するアドバイスをいただきました。

まず小早先生が、全員で「そうじの力」に取り組んでおられる、島根県益田市の給食センターを例に、お話されました。

毎日、四〇〇〇食も作られる規模で、徹底した調理管理と、使用後のそうじの映像を見せていただきました。

いろんな作業ごとに、担当者 の点検システムがしっかりできており、入荷されてきた食材や調理器具の破損による異物混入が、幾度となく未然に防止されたということでした。

この取り組み以後、誰もが小さな異変に気付けるようになり、改善はなお続いていくとのこと、「安全」を伝える私たち教習所も人ごとではありません。

次に、各班の成果と予定を発表し、小早先生よりアドバイスをいただきました。

その中、劣化しているものでも、いつも同じ見方をしていると異変に気付かず見過ごしており、「なぜ？」と問

題意識を持つ大切さを改めて教えていただきました。



あたり前と思っていたら...

毎朝十分間ですが、会社をよくするヒントがあり、各班特色を出しながら取り組んでいます。

## Mランドの朝

屋外の水道蛇口が凍結する寒い日が続いた一月。

積雪により「近隣掃除に学ぶ会」をやむなく中止の日もありましたが、「トイレ掃除に学ぶ会」と「校内掃除に学ぶ会」は、天候にも影響されることなく、多くのゲストに参加していただきました。

その中、「トイレ掃除に学ぶ会」は、道具や資源の使い方など、参加されるゲストたちにとって、これまで学校などで行なってきた方法との違いで驚かれます。

この日もお友だち三名と参加された柏木乃愛様。



熱心に取り組まれました

「洗剤や水に対して、使い方の大切さに気付かされました」と感想発表されました。

## 成年生まれ



愛チーム 岸 恒三郎

私が入社したのが二十四歳のとき、同じく年男でした。

思い返せば私にとって激動の十二年間であり、さまざまな経験の上に今の自分があると感じています。

当時、神戸に住んでいた私は、篠山におもしろい教習所があることを知り、意を決して採用を願ひ出、以

来インストラクターとして勤めさせていただいております。

私を大きく成長させてくれたのは、平成二十三年に開催した「Mランドフェスタ」で事務局長をさせていただいたことでした。

卒業生とフェスタで集まった多くの支援物資とともに、東日本大震災被災地の一つ、宮城県南三陸町へ行かせていただきました。

約一週間のボランティアは、以後、私の心の在り方、物の大切さを身をもって気付く機会となりました。

篠山で一人暮らしの不安な思いをしていた私も、今では大切な家族とめぐり逢え、職場の同僚、趣味のバスケットボールチームの仲間と囲まれ、充実した日々を送っています。

育てていただいた十二年間を通して、私にしかできない貢献をこれからも続けてまいります。

## 編集後記

年が明け早や一か月。如何に時間を過ごしてきたかを自問しました。日々の繰り返しにならぬよう。(徹)